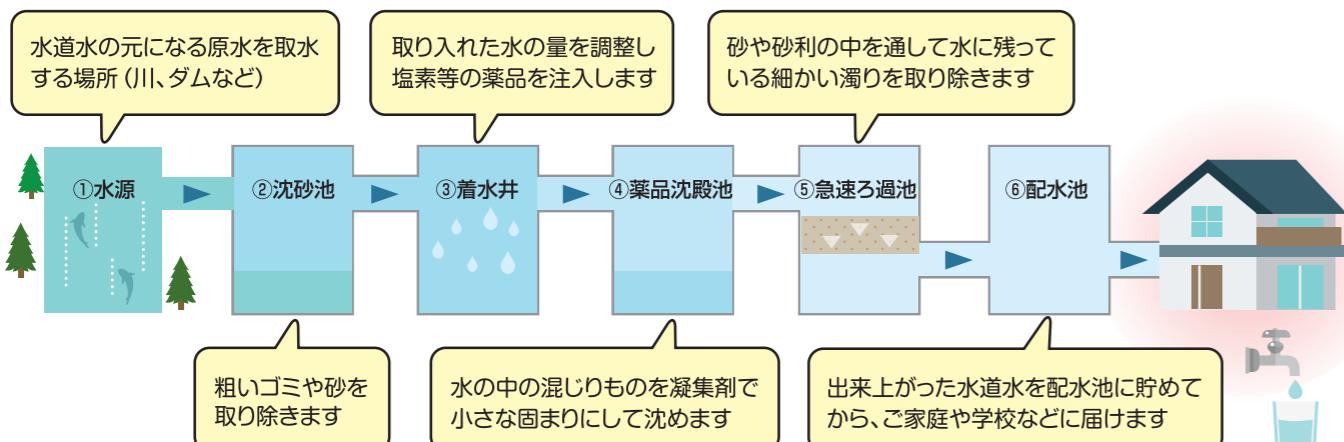




| 水道水ができるまで |

浄水場では川やダムなどの水から、きれいな水道水をつくって皆さんにお届けしています。上下水道局がつくっている水道水の約半分は裾花川や犀川など川の水を使っています。残りの半分は地下水や湧き水を使っています。下の図は一番早くたくさんの水道水をつくれる急速ろ過方式です。このほかに、緩速(かんそく)ろ過方式、膜(まく)ろ過方式などがあります。

急速ろ過方式



戸隠水源



犀川浄水場



中央監視室



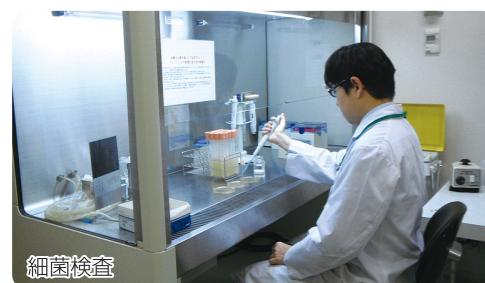
上下水道局では1日に約9万m³の水道水をつくっています。
これは、学校のプール225杯分に相当するよ。



■ 水質の検査

水道水の水質は、病原生物や有毒物質が混ざっていないか、極端な酸性またはアルカリ性、異常な臭いがないかなどの基準が法律で定められています。

* 上下水道局では、水質基準(健康項目、生活上支障項目)を満たした水道水を安心して飲んでいただくために、51項目の検査をしています。



細菌検査

このほかにも、水源の水が汚染されていないか、浄水場の設備が正しく稼働しているか、蛇口から出る水道水の残留塩素濃度が適切かどうかなどを確認するために、「水質検査計画」に基づいて水源から蛇口までを統合的に検査して、安全な水道水を24時間365日お届けしています。

* 次に該当する物質等を含まない
または基準値以下
健康項目(31項目)
大腸菌やヒ素など人の健康に障害を生ずる恐れのあるもの。
生活上支障項目(20項目)
色や濁りなど生活利用上あるいは水道施設管理上に障害を生ずる恐れのあるもの。



生物検査



電気設備点検

漏水修理はお早めに

漏水は、はじめはごくわずかな量でも、日に日に増していき、水資源が無駄になるだけでなく水道料金も高額になってしまいます。特に冬場は管の老朽化だけでなく管の凍結も漏水の原因となります。

水道メーターで漏水を発見する方法

室内で漏水しているかどうかを、水道メーターで調べることができます。

水道を使用していない状態で、水道メーターの中にいるパイロットが回っている場合は、水道メーターから蛇口までのどこかで水が漏れている可能性があります。

※もしパイロットが回っていたら

長野市指定給水装置工事事業者にご相談または修理をご依頼ください。事業者の一覧は上下水道局のホームページで公開しています(水道メーターから蛇口までの調査・修理費用については、お客様の負担となります。)。

依頼する業者が不明な場合は、長野市水道工事協同組合までお問い合わせください。
(☎026-241-0893)



▲事業者一覧は
こちらから



メーターは、上下水道局からの貸与品です。家屋の解体等で撤去をご希望の場合は、営業課(☎026-224-5075)へ事前にご相談ください。

上下水道局では日々漏水調査を行っています

水資源を無駄にしないために、上下水道局では漏水調査を行っています。漏水は放っておくと、道路陥没や交通事故、家屋の床下浸水などの二次災害を引き起こす可能性もあります。

上下水道局では漏水の可能性が高そうな、老朽化した管が多い箇所を中心に、年間約500kmの調査をおこなっています。

令和元年度は488件(推定漏水量247.2m³/h)の漏水を発見しました。

道路上で漏水を発見された際には、水道維持課(☎026-241-1132)までご連絡をお願いします。



音聴棒

メーターボックスや止水栓に直接接触させて漏水音を聞き取りります。聞き分けにはある程度の熟練が必要です。



漏水探知機

路面にセンサーを置いてヘッドホンで漏水音を聴き取ります。音聴棒に比べて聴き取りやすくなります。



漏水探知システム

センサーを複数設置することができます、広範囲を一度に調査することができます。